

## LM・ユーロ 毎月分配型ファンド

### 運用報告書（全体版）

第208期	決算日	2019年12月18日
第209期	決算日	2020年1月20日
第210期	決算日	2020年2月18日
第211期	決算日	2020年3月18日
第212期	決算日	2020年4月20日
第213期	決算日	2020年5月18日

◇当ファンドの仕組みは、次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	無期限	
運用方針	主としてユーロ建て債券に投資し、ユーロ短期金利を上回るインカムゲインを獲得することにより、ユーロ短期金利水準の分配を毎月行い、ユーロ原資産元本の安定した運用成果を目指します。	
主要運用対象	当ファンド	「LM・ユーロ短期投資適格債マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
	LM・ユーロ短期投資適格債マザーファンド	主としてユーロ建ての欧州の国債、政府機関債、国際機関債、事業債、金融債、モーゲージ証券および資産担保証券等を主要投資対象とします。
組入制限	外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。	
分配方針	決算日（原則として毎月18日、休業日の場合は翌営業日）に、収益分配方針に基づいて分配を行います。	

### － 受益者のみなさまへ －

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「LM・ユーロ毎月分配型ファンド」は、2020年5月18日に第213期の決算を行いましたので、第208期、第209期、第210期、第211期、第212期、第213期の運用状況と収益分配金をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

レグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社

〒100-6536 東京都千代田区丸の内一丁目5番1号

<http://www.leggmason.co.jp>

当報告書に関するお問い合わせ先：

レグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社

お問い合わせ窓口

電話番号：03-5219-5947

## ○最近30期の運用実績

決算期	基準 (分配落)	標準価額			債 組 入 比	券 率	債 先 物 比	券 率	純 資 産 額
		税 分	込 配	み 金 騰 落					
	円	円	%	%	%	%	百万円		
184期(2017年12月18日)	6,638	20	0.5	97.6	△60.8		5,926		
185期(2018年1月18日)	6,773	20	2.3	92.4	△60.2		6,122		
186期(2018年2月19日)	6,574	20	△2.6	95.9	△64.1		5,594		
187期(2018年3月19日)	6,438	20	△1.8	95.7	△64.1		5,514		
188期(2018年4月18日)	6,541	20	1.9	95.7	△64.2		5,623		
189期(2018年5月18日)	6,436	20	△1.3	95.6	△64.2		5,556		
190期(2018年6月18日)	6,263	20	△2.4	96.0	△61.3		5,401		
191期(2018年7月18日)	6,418	20	2.8	96.4	△54.7		5,624		
192期(2018年8月20日)	6,142	20	△4.0	97.1	△55.1		5,355		
193期(2018年9月18日)	6,320	20	3.2	96.6	△49.4		5,471		
194期(2018年10月18日)	6,250	20	△0.8	96.6	△50.8		5,279		
195期(2018年11月19日)	6,172	20	△0.9	97.7	△42.7		5,125		
196期(2018年12月18日)	6,105	20	△0.8	98.8	△47.6		4,982		
197期(2019年1月18日)	5,921	20	△2.7	95.8	△39.3		4,800		
198期(2019年2月18日)	5,930	20	0.5	96.4	△45.1		4,796		
199期(2019年3月18日)	5,983	20	1.2	97.8	△45.7		4,779		
200期(2019年4月18日)	5,975	20	0.2	95.4	△41.1		4,689		
201期(2019年5月20日)	5,784	20	△2.9	96.8	△41.8		4,488		
202期(2019年6月18日)	5,710	20	△0.9	97.2	△36.6		4,415		
203期(2019年7月18日)	5,659	20	△0.5	95.2	△33.7		4,342		
204期(2019年8月19日)	5,489	20	△2.7	97.0	△34.5		4,148		
205期(2019年9月18日)	5,551	20	1.5	96.5	△27.8		4,170		
206期(2019年10月18日)	5,599	5	1.0	97.1	△28.0		4,180		
207期(2019年11月18日)	5,563	5	△0.6	94.0	△28.3		4,103		
208期(2019年12月18日)	5,638	5	1.4	96.0	△25.9		4,032		
209期(2020年1月20日)	5,638	5	0.1	96.6	△22.2		3,937		
210期(2020年2月18日)	5,481	5	△2.7	94.7	△26.1		3,659		
211期(2020年3月18日)	5,383	5	△1.7	92.7	△25.9		3,512		
212期(2020年4月20日)	5,337	5	△0.8	91.9	△23.8		3,460		
213期(2020年5月18日)	5,275	5	△1.1	93.8	△28.3		3,376		

(注) 標準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、「債券組入比率」「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

(注) 市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率およびリスク特性を特定のベンチマーク等と比較しておりません。

## ○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	券 率
第208期	(期 首) 2019年11月18日	円 5,563	% —		% 94.0		% △28.3
	11月末	5,575	0.2		96.7		△28.6
	(期 末) 2019年12月18日	5,643	1.4		96.0		△25.9
第209期	(期 首) 2019年12月18日	5,638	—		96.0		△25.9
	12月末	5,658	0.4		94.9		△26.0
	(期 末) 2020年1月20日	5,643	0.1		96.6		△22.2
第210期	(期 首) 2020年1月20日	5,638	—		96.6		△22.2
	1月末	5,548	△1.6		96.7		△22.7
	(期 末) 2020年2月18日	5,486	△2.7		94.7		△26.1
第211期	(期 首) 2020年2月18日	5,481	—		94.7		△26.1
	2月末	5,539	1.1		96.2		△26.6
	(期 末) 2020年3月18日	5,388	△1.7		92.7		△25.9
第212期	(期 首) 2020年3月18日	5,383	—		92.7		△25.9
	3月末	5,421	0.7		88.4		△23.9
	(期 末) 2020年4月20日	5,342	△0.8		91.9		△23.8
第213期	(期 首) 2020年4月20日	5,337	—		91.9		△23.8
	4月末	5,283	△1.0		97.2		△28.0
	(期 末) 2020年5月18日	5,280	△1.1		93.8		△28.3

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

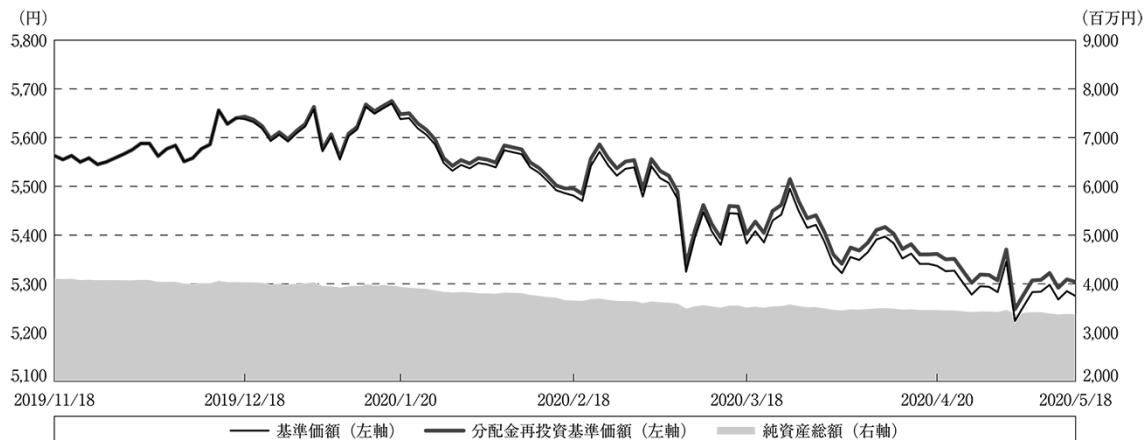
(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、「債券組入比率」「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

## ○運用経過

### 作成期間中の基準価額等の推移

(2019年11月19日～2020年5月18日)



第208期首：5,563円

第213期末：5,275円 (既払分配金(税込み):30円)

騰落率：△ 4.7% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、作成期首(2019年11月18日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

## ○基準価額の主な変動要因

当作成期の当ファンドのパフォーマンス(騰落率)はマイナスとなりました。

公社債利金を手堅く確保しました。一方、公社債損益については、マイナスとなりました。為替損益についても、ユーロ・円相場がユーロ安・円高となったことから、マイナスとなりました。

当作成期の欧州債券市場は、利回りが低下（価格は上昇）しました。

期の前半は、米中が貿易協定の「第1段階」で合意し、貿易摩擦を巡る不透明感が後退したことや、英国総選挙で与党・保守党が過半数の議席を獲得し、英国による欧州連合（EU）離脱を巡る不透明感が後退したことなどから、利回りは上昇しました。

期の半ばは、新型コロナウイルスの感染拡大により、世界経済への影響が懸念されたことから、利回りは低下しました。その後も、感染地域が一段と広がり、投資家のリスク回避姿勢が強まったことから、利回りの低下が進みました。しかし、主要各国が相次いで金融・財政支援策を発表し、景気の先行き懸念が和らぐと、利回りは上昇（価格は下落）に転じました。

期の後半は、欧州経済の急速な悪化を受けて、景気の先行き懸念が改めて意識されたことなどから、利回りは低下しました。

欧州社債市場については、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う金融市場の混乱を受けてリスク回避姿勢が強まったことから、社債スプレッド（国債に対する上乗せ金利）は拡大しました。

欧州資産担保証券（ABS）/モーゲージ証券（MBS）市場についても、スプレッドは拡大しました。

当作成期のユーロ・円相場は、ユーロ安・円高となりました。

期の前半は、米中の貿易摩擦を巡る懸念が後退したことや、英国総選挙の結果を受けて英国のEU離脱を巡る不透明感が和らいだことなどから、ユーロ買い・円売りが優勢となりました。

期の半ばは、新型コロナウイルスの感染拡大への警戒感からリスク回避姿勢が強まり、ユーロ売り・円買いが優勢となりました。さらに、新型コロナウイルスの感染地域が一段と広がる中、ユーロ売り・円買いが強まりました。その後は、主要各国が相次いで金融・財政支援策を発表したことなどを受けて過度のリスク回避姿勢が緩んだことから、ユーロは値を戻す展開となりました。

期の後半は、欧州経済の急速な悪化を受けて、景気の先行き懸念が改めて意識されたことなどから、ユーロ売り・円買いが再び優勢となりました。



当ファンドは、主に「LM・ユーロ短期投資適格債マザーファンド」受益証券への投資を通じて、主としてユーロ建ての欧州の国債、政府機関債、国際機関債、事業債、金融債、モーゲージ証券、資産担保証券等を中心に投資を行い、ユーロ短期金利水準に連動した安定的収益の確保を目指した運用に努めてまいりました。また、原則としてBBB-/Baa3格以上の格付けの公社債へ投資し、ファンドに組入れる債券の平均格付をA-/A3格以上に保ち信用リスクの抑制を図る等、安定的な運用を目指しております。当ファンドの基準価額は、組入債券がユーロ建てで為替ヘッジを行わないため、ユーロ・円相場の変動の影響をそのまま反映しますが、ユーロベースの原資産は金利リスク（債券利回りの変動の影響を受けて、債券価格が変動するリスク）の低減に努め、安定性を重視した運用を行っております。当作成期の運用においては、引き続き高格付債券への投資比率を高位に保ちました。

分配金

(2019年11月19日～2020年5月18日)

分配金につきましては、基準価額動向や保有債券の利子収入等を勘案し、以下の通りとさせていただきます。なお、収益分配に充当しなかった利益につきましては信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づき運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項 目	第208期	第209期	第210期	第211期	第212期	第213期
	2019年11月19日～ 2019年12月18日	2019年12月19日～ 2020年1月20日	2020年1月21日～ 2020年2月18日	2020年2月19日～ 2020年3月18日	2020年3月19日～ 2020年4月20日	2020年4月21日～ 2020年5月18日
当期分配金 (対基準価額比率)	5 0.089%	5 0.089%	5 0.091%	5 0.093%	5 0.094%	5 0.095%
当期の収益	5	4	3	3	2	2
当期の収益以外	—	0	1	1	2	2
翌期繰越分配対象額	743	742	741	739	737	734

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。  
 (注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

当ファンドは、主としてユーロ建ての欧州の国債、政府機関債、国際機関債、事業債、金融債、モーゲージ証券、資産担保証券等を中心に投資を行うファンドです。今後も引き続き、組入債券の信用リスク、金利リスクに配慮しつつ銘柄を厳選し、運用に注力していく所存です。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2019年11月19日～2020年5月18日)

項 目	第208期～第213期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 12	% 0.219	(a)信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
( 投 信 会 社 )	( 5 )	(0.098)	委託した資金の運用の対価
( 販 売 会 社 )	( 5 )	(0.098)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
( 受 託 会 社 )	( 1 )	(0.022)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	0	0.001	(b)売買委託手数料＝作成期間の売買委託手数料÷作成期間の平均受益権口数
( 先 物 ・ オ プ シ ョ ン )	( 0 )	(0.001)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) そ の 他 費 用	2	0.029	(c)その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
( 保 管 費 用 )	( 0 )	(0.006)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
( 監 査 費 用 )	( 0 )	(0.009)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
( 印 刷 等 費 用 )	( 1 )	(0.014)	印刷等費用は、印刷業者等に支払う法定書類の作成、印刷、交付および届出に係る費用
合 計	14	0.249	
作成期間の平均基準価額は、5,504円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

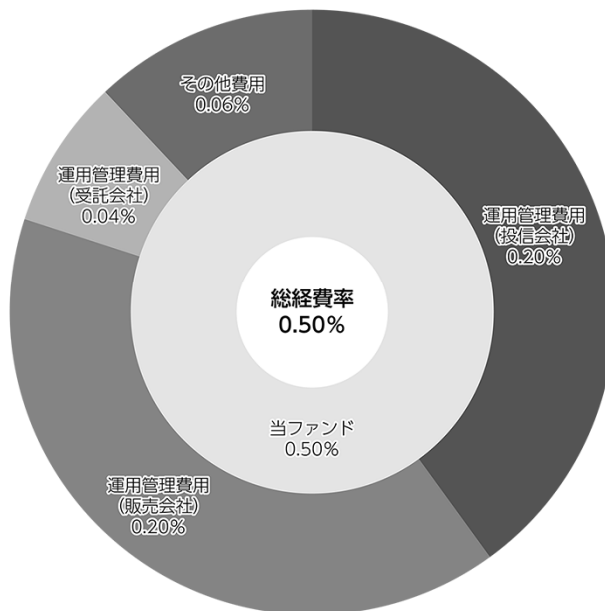
(注) 売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## (参考情報)

### ○総経費率

作成期間中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間中の平均受益権口数に作成期間中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.50%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。



## ○売買及び取引の状況

(2019年11月19日～2020年5月18日)

### 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘	柄	第208期～第213期			
		設 定		解 約	
		口 数	金 額	口 数	金 額
		千口	千円	千口	千円
LM・ユーロ短期投資適格債マザーファンド		7,225	9,464	440,452	579,072

(注) 単位未満は切捨て。

## ○利害関係人との取引状況等

(2019年11月19日～2020年5月18日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○第二種金融商品取引業を兼業している投資信託委託会社の自己取引状況

(2019年11月19日～2020年5月18日)

該当事項はございません。

## ○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2019年11月19日～2020年5月18日)

該当事項はございません。

## ○組入資産の明細

(2020年5月18日現在)

### 親投資信託残高

銘	柄	第207期末	第213期末	
		口 数	口 数	評 価 額
		千口	千口	千円
LM・ユーロ短期投資適格債マザーファンド		3,115,761	2,682,533	3,381,333

(注) 単位未満は切捨て。

## ○投資信託財産の構成

(2020年5月18日現在)

項 目	第213期末	
	評 価 額	比 率
LM・ユーロ短期投資適格債マザーファンド	千円 3,381,333	% 100.0
コール・ローン等、その他	0	0.0
投資信託財産総額	3,381,333	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(注) LM・ユーロ短期投資適格債マザーファンドにおいて、当作成期末における外貨建純資産(3,484,913千円)の投資信託財産総額(3,495,520千円)に対する比率は99.7%です。

(注) 外貨建資産は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、5月18日における邦貨換算レートは、1ユーロ=115.96円です。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第208期末	第209期末	第210期末	第211期末	第212期末	第213期末
	2019年12月18日現在	2020年1月20日現在	2020年2月18日現在	2020年3月18日現在	2020年4月20日現在	2020年5月18日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	4,045,931,904	3,964,409,943	3,712,747,510	3,517,535,853	3,465,750,375	3,381,333,912
LM・ユーロ短期投資適格債マザーファンド(評価額)	4,037,267,848	3,942,369,722	3,664,104,397	3,517,501,189	3,465,740,370	3,381,333,612
未収入金	8,664,056	22,040,221	48,643,113	34,664	10,005	300
(B) 負債	13,854,568	27,275,739	53,440,021	4,684,937	4,805,469	4,489,961
未払収益分配金	3,576,060	3,491,781	3,338,293	3,262,950	3,242,697	3,200,767
未払解約金	8,664,056	22,040,221	48,643,113	34,664	10,005	300
未払信託報酬	1,464,281	1,585,296	1,328,362	1,258,803	1,392,701	1,156,429
その他未払費用	150,171	158,441	130,253	128,520	160,066	132,465
(C) 純資産総額(A-B)	4,032,077,336	3,937,134,204	3,659,307,489	3,512,850,916	3,460,944,906	3,376,843,951
元本	7,152,120,543	6,983,562,448	6,676,586,813	6,525,901,568	6,485,394,672	6,401,535,066
次期繰越損益金	△3,120,043,207	△3,046,428,244	△3,017,279,324	△3,013,050,652	△3,024,449,766	△3,024,691,115
(D) 受益権総口数	7,152,120,543口	6,983,562,448口	6,676,586,813口	6,525,901,568口	6,485,394,672口	6,401,535,066口
1万口当たり基準価額(C/D)	5,638円	5,638円	5,481円	5,383円	5,337円	5,275円

<注記事項>

(注) 元本の状況

当作成期首元本額 7,376,746,705円

当作成期中追加設定元本額 17,183,229円

当作成期中一部解約元本額 992,394,868円

(注) 元本の欠損

純資産総額が元本額を下回っており、その差額は3,024,691,115円であります。

## ○損益の状況

項 目	第208期	第209期	第210期	第211期	第212期	第213期
	2019年11月19日～ 2019年12月18日	2019年12月19日～ 2020年1月20日	2020年1月21日～ 2020年2月18日	2020年2月19日～ 2020年3月18日	2020年3月19日～ 2020年4月20日	2020年4月21日～ 2020年5月18日
	円	円	円	円	円	円
(A) 有価証券売買損益	58,255,243	5,317,136	△ 99,963,580	△ 59,219,344	△ 25,305,394	△ 34,858,093
売買益	61,119,298	8,850,595	2,585,384	765,675	194,381	412,406
売買損	△ 2,864,055	△ 3,533,459	△ 102,548,964	△ 59,985,019	△ 25,499,775	△ 35,270,499
(B) 信託報酬等	△ 1,614,452	△ 1,743,737	△ 1,458,615	△ 1,387,323	△ 1,552,767	△ 1,288,894
(C) 当期損益金(A+B)	56,640,791	3,573,399	△ 101,422,195	△ 60,606,667	△ 26,858,161	△ 36,146,987
(D) 前期繰越損益金	△ 759,253,932	△ 689,270,957	△ 658,606,397	△ 745,190,987	△ 802,695,034	△ 820,249,775
(E) 追加信託差損益金	△ 2,413,854,006	△ 2,357,238,905	△ 2,253,912,439	△ 2,203,990,048	△ 2,191,653,874	△ 2,165,093,586
(配当等相当額)	( 530,778,034)	( 518,269,560)	( 495,488,903)	( 483,668,613)	( 479,662,374)	( 472,037,325)
(売買損益相当額)	(△2,944,632,040)	(△2,875,508,465)	(△2,749,401,342)	(△2,687,658,661)	(△2,671,316,248)	(△2,637,130,911)
(F) 計(C+D+E)	△ 3,116,467,147	△ 3,042,936,463	△ 3,013,941,031	△ 3,009,787,702	△ 3,021,207,069	△ 3,021,490,348
(G) 収益分配金	△ 3,576,060	△ 3,491,781	△ 3,338,293	△ 3,262,950	△ 3,242,697	△ 3,200,767
次期繰越損益金(F+G)	△ 3,120,043,207	△ 3,046,428,244	△ 3,017,279,324	△ 3,013,050,652	△ 3,024,449,766	△ 3,024,691,115
追加信託差損益金	△ 2,413,854,006	△ 2,357,238,905	△ 2,254,565,264	△ 2,205,001,015	△ 2,193,096,052	△ 2,166,747,086
(配当等相当額)	( 530,778,704)	( 518,270,272)	( 494,836,791)	( 482,658,213)	( 478,220,816)	( 470,384,290)
(売買損益相当額)	(△2,944,632,710)	(△2,875,509,177)	(△2,749,402,055)	(△2,687,659,228)	(△2,671,316,868)	(△2,637,131,376)
分配準備積立金	643,181	298,880	-	-	-	-
繰越損益金	△ 706,832,382	△ 689,488,219	△ 762,714,060	△ 808,049,637	△ 831,353,714	△ 857,944,029

(注) 損益の状況の中で(A)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額をいいます。

(注) 信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するために要する費用として、委託者報酬のうち販売会社へ支払う手数料を除いた額の100分の50相当額を支払っております。

<分配金の計算過程>

決 算 期	第208期	第209期	第210期	第211期	第212期	第213期
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益(費用控除後)	4,219,241	3,162,889	2,399,849	2,251,983	1,800,519	1,547,267
(B) 有価証券売買等損益 (費用控除後、繰越欠損金補填後)	0	0	0	0	0	0
(C) 収益調整金	530,778,704	518,270,272	495,489,616	483,669,180	479,662,994	472,037,790
(D) 分配準備積立金	0	627,772	285,619	0	0	0
分配対象収益額(A+B+C+D)	534,997,945	522,060,933	498,175,084	485,921,163	481,463,513	473,585,057
(1万円当たり収益分配対象額)	( 748)	( 747)	( 746)	( 744)	( 742)	( 739)
収 益 分 配 金	3,576,060	3,491,781	3,338,293	3,262,950	3,242,697	3,200,767
(1万円当たり収益分配金)	( 5)	( 5)	( 5)	( 5)	( 5)	( 5)

## ○分配金のお知らせ

	第208期	第209期	第210期	第211期	第212期	第213期
1 万口当たり分配金 (税込み)	5円	5円	5円	5円	5円	5円

◇分配金をお支払いする場合

分配金は各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◇分配金を再投資する場合

お手持り分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰入れて再投資いたします。

◇分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により普通分配金と元本払戻金（特別分配金）にわかれます。分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分に相当する金額が元本払戻金（特別分配金）、残りの部分が普通分配金となります。

◇元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

## ○（参考情報）親投資信託の組入資産の明細

（2020年5月18日現在）

## &lt;LM・ユーロ短期投資適格債マザーファンド&gt;

下記は、LM・ユーロ短期投資適格債マザーファンド全体(2,773,026千口)の内容です。

## 外国公社債

## (A)外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	第213期末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
ユーロ	千ユーロ	千ユーロ	千円	%	%	%	%	%
ドイツ	1,500	1,492	173,126	5.0	—	—	2.0	3.0
イタリア	850	859	99,694	2.9	—	—	—	2.9
フランス	410	402	46,678	1.3	—	—	—	1.3
オランダ	2,460	2,461	285,473	8.2	—	—	1.6	6.5
ベルギー	1,800	1,792	207,843	5.9	—	—	3.2	2.7
ルクセンブルク	970	969	112,399	3.2	—	—	1.3	1.9
フィンランド	1,240	1,245	144,436	4.1	—	—	—	4.1
その他	18,970	19,024	2,206,045	63.1	—	—	8.7	54.4
合 計	28,200	28,248	3,275,697	93.7	—	—	16.8	76.9

(注) 邦貨換算金額は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 金額の単位未満は切捨て。

## (B)外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄			第213期末				
			利率	額面金額	評価額		償還年月日
					外貨建金額	邦貨換算金額	
ユーロ			%	千ユーロ	千ユーロ	千円	
ドイツ	普通社債券 (含む投資法人債券)	SAP SE	0.25	900	901	104,563	2022/3/10
		VOLKSWAGEN BANK GMBH FRN	1.209	600	591	68,562	2022/8/1
イタリア	普通社債券 (含む投資法人債券)	INTESA SANPAOLO SPA	2.0	550	554	64,301	2021/6/18
		UNICREDIT SPA	3.25	300	305	35,392	2021/1/14
フランス	普通社債券 (含む投資法人債券)	RCI BANQUE SA FRN	0.396	410	402	46,678	2021/4/12
オランダ	普通社債券 (含む投資法人債券)	ABN AMRO BANK NV FRN	0.18	1,200	1,199	139,097	2021/1/15
		BAYER CAPITAL CORP B FRN	0.177	500	492	57,123	2022/6/26
		SHELL INTL FIN	1.625	760	769	89,252	2021/3/24
ベルギー	普通社債券 (含む投資法人債券)	ANHEUSER-BUSCH	1.95	800	814	94,454	2021/9/30
		KBC GROUP NV FRN	0.14	1,000	977	113,389	2022/11/24
ルクセンブルク	普通社債券 (含む投資法人債券)	ABBVIE INC FRN	0.097	570	569	66,050	2020/11/15
		MEDTRONIC GLOBAL HLDINGS	0.375	400	399	46,348	2023/3/7
フィンランド	普通社債券 (含む投資法人債券)	NORDEA BANK ABP	4.0	1,240	1,245	144,436	2020/6/29
その他	普通社債券 (含む投資法人債券)	AMERICAN EXPRESS	0.625	900	894	103,720	2021/11/22
		ASB FINANCE LTD	0.5	1,300	1,300	150,791	2020/6/17
		BANK OF AMERICA CORP	1.375	1,400	1,410	163,564	2021/9/10
		BANK OF NOVA SCOTIA FRN	0.264	500	495	57,405	2022/10/5
		BP CAPITAL MARKETS PLC	2.177	800	814	94,446	2021/9/28
		DNB NOR BANK	3.875	1,300	1,305	151,400	2020/6/29
		GOLDMAN SACHS GROUP FRN	0.839	900	898	104,146	2021/7/27
		LEEDS BUILDING SOCIETY	1.375	450	453	52,643	2022/5/5
		LLOYDS BANK PLC	1.375	1,000	1,015	117,744	2022/9/8
		MORGAN STANLEY	2.375	1,000	1,015	117,811	2021/3/31
		MUFG BANK LTD	0.875	400	400	46,470	2022/3/11
		NATIONAL AUSTRALIA B FRN	0.346	770	770	89,333	2021/4/19
		NATIONAL AUSTRALIA BANK	2.0	700	705	81,839	2020/11/12
		NATWEST MARKETS PLC FRN	—	500	499	57,974	2020/6/8
		NYKREDIT FRN	0.145	660	646	75,000	2022/6/2
		NYKREDIT REALKREDIT AS	0.375	570	569	66,092	2020/6/16
		ROLLS-ROYCE PLC	2.125	440	427	49,626	2021/6/18
		SANTANDER UK PLC	1.125	400	402	46,648	2022/1/14
		SKANDINAVISKA ENSKIL FRN	0.186	1,000	1,000	115,965	2020/5/26
		SKY LTD	1.5	760	768	89,134	2021/9/15
SPAREBANK 1 SMN FRN	0.242	770	769	89,270	2020/11/9		
SVENSKA HANDELSBANKEN AB	1.125	450	459	53,265	2022/12/14		
UBS AG LONDON	1.25	1,000	1,011	117,242	2021/9/3		
WELLS FARGO & CO FRN	0.268	1,000	987	114,503	2022/1/31		
合	計					3,275,697	

(注) 邦貨換算金額は、当作期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

## 先物取引の銘柄別期末残高

銘 柄 別			第213期末	
			買 建 額	売 建 額
外国	債券先物取引	ドイツ国債(2年)2020.6 限月	百万円 -	百万円 989

(注) 邦貨換算金額は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 単位未満は切捨て。

# LM・ユーロ短期投資適格債マザーファンド

## 運用状況のご報告

第18期 決算日 2020年2月18日

(計算期間：2019年2月19日～2020年2月18日)

### － 受益者のみなさまへ －

法令・諸規則に基づき、「LM・ユーロ短期投資適格債マザーファンド」の第18期の運用状況をご報告申し上げます。

◇当ファンドの仕組みは、次の通りです。

商 品 分 類	親投資信託
信 託 期 間	無期限
運 用 方 針	1. 主としてユーロ建ての欧州の国債、政府機関債、国際機関債、事業債、金融債、モーゲージ証券、資産担保証券等を中心に投資を行い、ユーロ短期金利水準に連動した安定的収益の確保を目指します。 2. 原則として、投資を行う公社債はBBB-／Baa3格以上の格付けを有するものとし、又、コマーシャル・ペーパー、譲渡性預金等については、A2／P2格以上の格付けを有するものとします。
主 要 運 用 対 象	国債、政府機関債、国際機関債、事業債、金融債、モーゲージ証券、資産担保証券等
組 入 制 限	外貨建資産への投資には制限を設けません。



## ○最近5期の運用実績

決算期	基準	価額		債組入比率	債券先物比率	純資産額
		騰落	中率			
	円		%	%	%	百万円
14期(2016年2月18日)	13,852	△ 6.5		94.3	△ 4.4	2,906
15期(2017年2月20日)	13,133	△ 5.2		97.1	△ 3.7	2,170
16期(2018年2月19日)	14,491	10.3		95.6	△63.9	5,782
17期(2019年2月18日)	13,647	△ 5.8		96.0	△44.9	4,947
18期(2020年2月18日)	13,044	△ 4.4		94.6	△26.1	3,783

(注) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

(注) 市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率およびリスク特性を特定のベンチマーク等と比較しておりません。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準	価額		債組入比率	債券先物比率
		騰落	率		
(期首)	円		%	%	%
2019年2月18日	13,647	—		96.0	△44.9
2月末	13,785	1.0		96.8	△45.3
3月末	13,627	△0.1		97.5	△46.1
4月末	13,626	△0.2		96.0	△41.3
5月末	13,325	△2.4		96.7	△39.4
6月末	13,413	△1.7		97.4	△36.7
7月末	13,282	△2.7		95.9	△34.0
8月末	12,888	△5.6		96.9	△31.6
9月末	12,933	△5.2		96.4	△27.8
10月末	13,316	△2.4		97.5	△28.1
11月末	13,218	△3.1		96.6	△28.6
12月末	13,432	△1.6		94.9	△26.0
2020年1月末	13,188	△3.4		96.7	△22.6
(期末)					
2020年2月18日	13,044	△4.4		94.6	△26.1

(注) 騰落率は期首比です。

(注) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

## ○運用経過

### 期中の基準価額等の推移

(2019年2月19日～2020年2月18日)



### ○基準価額の変動要因

当期の当ファンドのパフォーマンス（騰落率）はマイナスとなりました。公社債利金を手堅く確保しましたが、ユーロ・円相場がユーロ安・円高となったことから、為替損益がマイナスとなりました。

当期の欧州債券市場は、利回りが低下（価格は上昇）しました。

期の前半は、欧州経済の先行きに対する不透明感が広がったことから、利回りは低下しました。イタリアの財政問題を巡る不透明感が意識され、欧州域内で相対的に安全資産とされるドイツ国債が選好されたことも、利回りの低下を促す要因となりました。

期の半ばは、欧州中央銀行（ECB）による追加緩和期待が根強い中、利回りは低下しました。しかしその後は、ECBが追加緩和策を決定したものの、更なる緩和の余地が乏しいとの見方が広がったことなどから、利回りはやや上昇（価格は下落）しました。

期の後半は、米中が貿易協議の「第1段階」で合意し、貿易摩擦を巡る懸念が後退したことや、英総選挙で与党・保守党が過半数の議席を獲得し、英国による欧州連合（EU）離脱を巡る不透明感が後退したことなどから、利回りは上昇しました。しかしその後は、中国で発生した新型コロナウイルスの感染拡大により、世界経済への影響が懸念されたことから、利回りは低下しました。

社債セクターについては、ドイツの株式相場が堅調となったことなどを背景に、社債スプレッド（国債に対する上乗せ利回り）は縮小しました。資産担保証券（ABS）／モーゲージ証券（MBS）市場についても、MBSセクターを中心にスプレッドが縮小しました。

当期のユーロ・円相場は、ユーロ安・円高となりました。

期の前半は、ユーロ買い・円売りが優勢となる場面も見られましたが、欧州経済の先行きに対する不透明感が広がったことや、イタリアの財政問題を巡る不透明感が意識されたことなどから、ユーロは対円で下落しました。

期の半ばは、米中貿易摩擦の激化懸念を背景にリスク回避姿勢が強まったことから、ユーロは対円で下落しました。さらに、ECBが大規模な金融緩和に踏み切るとの思惑が広



がる中、ユーロ売り・円買いが強まりました。しかしその後、ECBが追加緩和策を決定したものの、更なる緩和の余地が乏しいとの見方が広がると、ユーロは買い戻されました。

期の後半は、米中貿易協議の合意を受けて、リスク回避姿勢が和らいだことなどから、ユーロは対円で底堅く推移しました。しかしその後は、新型肺炎の感染拡大による世界経済への影響が懸念され、リスク回避姿勢が改めて意識されたことなどから、ユーロは上値の重い展開となりました。

## 当ファンドのポートフォリオ

当ファンドは、主として、ユーロ建ての欧州の国債、政府機関債、国際機関債、事業債、金融債、モーゲージ証券、資産担保証券等を中心に投資を行い、ユーロ短期金利水準に連動した安定的収益の確保を目指した運用に努めてまいりました。また、原則としてBBB-/Baa3格以上の格付けの公社債へ投資し、ファンドに組入れる債券の平均格付をA-/A3格以上に保ち信用リスクの抑制を図る等、安定的な運用を目指しております。当ファンドの基準価額は、組入債券がユーロ建てで為替ヘッジを行わないため、ユーロ・円相場の変動の影響をそのまま反映しますが、ユーロベースの原資産は金利リスク（債券利回りの変動の影響を受けて、債券価格が変動するリスク）の低減に努め、安定性を重視した運用を行っております。当期の運用においては、引き続き高格付債券への投資比率を高位に保ちました。

## ○今後の運用方針

当ファンドは、主としてユーロ建ての欧州の国債、政府機関債、国際機関債、事業債、金融債、モーゲージ証券、資産担保証券等を中心に投資を行うファンドです。今後も引き続き、組入債券の信用リスク、金利リスクに配慮しつつ銘柄を厳選し、運用に注力していく所存です。

## ○1万口当たりの費用明細

(2019年2月19日～2020年2月18日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (先物・オプション)	円 0 (0)	% 0.004 (0.004)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) そ の 他 費 用 ( 保 管 費 用 ) ( 監 査 費 用 )	2 (2) (0)	0.014 (0.012) (0.001)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	2	0.018	
期中の平均基準価額は、13,336円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ○売買及び取引の状況

(2019年2月19日～2020年2月18日)

### 公社債

			買 付 額	売 付 額
			千ユーロ	千ユーロ
外 国	ユーロ			
	ドイツ	社債券(投資法人債券を含む)	908	—
	イタリア	社債券(投資法人債券を含む)	717	248
	フランス	社債券(投資法人債券を含む)	—	264
				(1,397)
	オランダ	社債券(投資法人債券を含む)	782	300
				(3,400)
	ベルギー	社債券(投資法人債券を含む)	201	—
ルクセンブルク	社債券(投資法人債券を含む)	180	—	
フィンランド	社債券(投資法人債券を含む)	—	147	
その他	社債券(投資法人債券を含む)	1,335	3,579	
			(2,400)	

(注) 金額は受渡し代金。(経過利息分は含まれておりません。)

(注) 単位未満は切捨て。

(注) ( )内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注) 社債券には新株予約権付社債(転換社債)は含まれておりません。

## 先物取引の種類別取引状況

種 類 別	買 建		売 建	
	新規買付額	決 済 額	新規売付額	決 済 額
外国 債券先物取引	百万円 -	百万円 -	百万円 6,697	百万円 7,855

(注) 金額は受渡し代金。

(注) 単位未満は切捨て。

(注) 外国の取引金額は、各月末（決算日の属する月については決算日）の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算した金額の合計です。

## ○利害関係人との取引状況等

(2019年2月19日～2020年2月18日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○組入資産の明細

(2020年2月18日現在)

### 外国公社債

#### (A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
ユーロ	千ユーロ	千ユーロ	千円	%	%	%	%	%
ドイツ	1,500	1,522	181,097	4.8	-	-	4.8	-
イタリア	850	874	104,048	2.8	-	-	-	2.8
フランス	410	411	48,949	1.3	-	-	-	1.3
オランダ	2,460	2,482	295,234	7.8	-	-	1.6	6.2
ベルギー	1,800	1,836	218,472	5.8	-	-	3.2	2.6
ルクセンブルク	570	570	67,865	1.8	-	-	-	1.8
フィンランド	1,240	1,259	149,787	4.0	-	-	-	4.0
その他	20,890	21,132	2,513,745	66.4	-	-	2.1	64.4
合 計	29,720	30,089	3,579,201	94.6	-	-	11.6	83.0

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 金額の単位未満は切捨て。

## (B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	銘柄	当期末					償還年月日
		利率	額面金額	評価額			
				外貨建金額	邦貨換算金額		
ユーロ		%	千ユーロ	千ユーロ	千円		
ドイツ	普通社債券 (含む投資法人債券) SAP SE VOLKSWAGEN BANK GMBH FRN	0.25 1.072	900 600	908 614	108,027 73,070	2022/3/10 2022/8/1	
イタリア	普通社債券 (含む投資法人債券) INTESA SANPAOLO SPA UNICREDIT SPA	2.0 3.25	550 300	565 309	67,245 36,802	2021/6/18 2021/1/14	
フランス	普通社債券 (含む投資法人債券) RCI BANQUE SA FRN	0.257	410	411	48,949	2021/4/12	
オランダ	普通社債券 (含む投資法人債券) ABN AMRO BANK NV FRN BAYER CAPITAL CORP B FRN SHELL INTL FIN	0.011 0.151 1.625	1,200 500 760	1,203 502 775	143,182 59,771 92,280	2021/1/15 2022/6/26 2021/3/24	
ベルギー	普通社債券 (含む投資法人債券) ANHEUSER-BUSCH KBC GROUP NV FRN	1.95 0.142	800 1,000	828 1,007	98,584 119,887	2021/9/30 2022/11/24	
ルクセンブルク	普通社債券 (含む投資法人債券) ALLERGAN FUNDING SCS FRN	—	570	570	67,865	2020/11/15	
フィンランド	普通社債券 (含む投資法人債券) NORDEA BANK ABP	4.0	1,240	1,259	149,787	2020/6/29	
その他	普通社債券 (含む投資法人債券) AMERICAN EXPRESS ASB FINANCE LTD BANK OF AMERICA CORP BERKSHIRE HATHAWAY BP CAPITAL MARKETS PLC DANSKE BANK A/S DNB NOR BANK EXPORT-IMPORT BK KOREA GOLDMAN SACHS GROUP FRN LLOYDS TSB BANK MORGAN STANLEY NATIONAL AUSTRALIA B FRN NATIONAL AUSTRALIA BANK NATWEST MARKETS PLC FRN NYKREDIT FRN NYKREDIT REALKREDIT AS ROLLS-ROYCE PLC SKANDINAVISKA ENSKIL FRN SKY LTD SPAREBANK 1 SMN FRN UBS AG LONDON WELLS FARGO & CO FRN	0.625 0.5 1.375 0.5 2.177 0.75 3.875 2.0 0.614 6.5 2.375 0.179 2.0 0.035 0.173 0.375 2.125 0.197 1.5 0.101 1.25 0.101	900 1,300 1,400 1,220 800 1,400 1,300 800 900 1,400 1,000 770 700 500 660 870 440 1,000 760 770 1,000 760 1,000 1,000	912 1,303 1,435 1,220 831 1,402 1,319 803 910 1,408 1,028 774 711 500 662 871 451 1,001 780 771 1,023 1,006	108,593 155,040 170,694 145,191 98,849 166,856 156,973 95,580 108,330 167,539 122,362 92,134 84,668 59,525 78,829 103,643 53,762 119,128 92,796 91,814 121,765 119,663	2021/11/22 2020/6/17 2021/9/10 2020/3/13 2021/9/28 2020/5/4 2020/6/29 2020/4/30 2021/7/27 2020/3/24 2021/3/31 2021/4/19 2020/11/12 2020/6/8 2022/6/2 2020/6/16 2021/6/18 2020/5/26 2021/9/15 2020/11/9 2021/9/3 2022/1/31	
合	計				3,579,201		

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

## 先物取引の銘柄別期末残高

銘柄別		当期	
		買建額	売建額
外国	債券先物取引	ドイツ国債(2年)2020.3限月	
		百万円	百万円
		—	986

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 単位未満は切捨て。

## ○投資信託財産の構成

(2020年2月18日現在)

項目	当期	
	評価額	比率
	千円	%
公社債	3,579,201	88.4
コール・ローン等、その他	469,694	11.6
投資信託財産総額	4,048,895	100.0

(注) 金額の単位未満は切捨て。

(注) 当期末における外貨建純資産(3,807,185千円)の投資信託財産総額(4,048,895千円)に対する比率は94.0%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2月18日における邦貨換算レートは、1ユーロ=118.95円です。

## ○特定資産の価格等の調査

(2019年2月19日～2020年2月18日)

該当事項はございません。



○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2020年2月18日現在)

項 目	当 期 末	円
(A) 資産	4,115,507,934	
コール・ローン等	395,755,127	
公社債(評価額)	3,579,201,063	
未収入金	91,066,385	
未収利息	30,473,885	
前払費用	1,357,819	
差入委託証拠金	17,653,655	
(B) 負債	332,345,117	
未払金	283,699,675	
未払解約金	48,645,385	
未払利息	57	
(C) 純資産総額(A-B)	3,783,162,817	
元本	2,900,313,289	
次期繰越損益金	882,849,528	
(D) 受益権総口数	2,900,313,289口	
1万口当たり基準価額(C/D)	13,044円	

<注記事項>

(注) 元本の状況

期首元本額	3,625,294,273円
期中追加設定元本額	52,056,313円
期中一部解約元本額	777,037,297円

(注) 期末における元本の内訳

LM・ユーロ毎月分配型ファンド	2,809,034,343円
LM・ユーロ短期債ファンドVA (適格機関投資家専用)	91,278,946円

○損益の状況 (2019年2月19日～2020年2月18日)

項 目	当 期	円
(A) 配当等収益	56,914,698	
受取利息	56,947,095	
支払利息	△ 32,397	
(B) 有価証券売買損益	△ 249,102,435	
売買益	10,106,237	
売買損	△ 259,208,672	
(C) 先物取引等取引損益	△ 4,453,250	
取引益	8,031,290	
取引損	△ 12,484,540	
(D) 保管費用等	△ 605,333	
(E) 当期損益金(A+B+C+D)	△ 197,246,320	
(F) 前期繰越損益金	1,322,316,593	
(G) 追加信託差損益金	17,800,397	
(H) 解約差損益金	△ 260,021,142	
(I) 計(E+F+G+H)	882,849,528	
次期繰越損益金(I)	882,849,528	

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益および(C)先物取引等取引損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(G)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(H)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。